

## (仮称)市民ファシリテーター育成事業について①

## 検証と実践により、対話の場を支える人材をはぐくむ

## 市民ファシリテーターの育成(第5次市民自治推進会議答申より)

市民ファシリテーターの育成とは	市が認定する市民ファシリテーターが、市民会議やワークショップ等で市民同士の対話を支援する役割を担う仕組みとして、第5次市民自治推進会議の答申において提言されたもの。
目的等	市民同士の対話の場における議論の質の向上や市政への市民の主体的な関与を促進する効果を期待するもの。 市民の視点に立ちながら中立性を維持し、議論を進行するため、専門技術を学ぶ機会その他、登録者同士の交流の場で実践経験や情報交換の機会を提供する等、一定の研修や実践を経験した市民が役割を担う仕組みを整えることが望ましい。
答申に基づく実施イメージ	①様々な媒体で周知→②研修→③実践→④振り返り→⑤メンバー登録

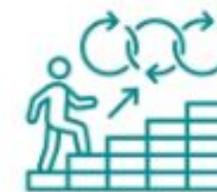
## 懸念点(課題)と目指す姿

## ! 懸念点(課題)



- **学びの定着**  
基礎講座のみでは習熟度に差が生じやすい
- **実践の場の不足**  
研修後に実践の場が少ないと経験を積むことが難しい
- **成長実感の機会の確保**  
講座を受けて終わりになってしまふと、成長の実感が持ちにくい

## 目指す姿



- **段階的にスキルを取得**  
実践と応用講座により、ステップアップを目指す
- **確実な機会提供**  
市民自治推進室主催のWS等で実践機会の確保を図る
- **相互学習で成長を実感**  
振り返りや参加者同士の学びの機会を提供し、成長を実感できる仕組みをつくる



## 実際の対話の場を活用しながらステップアップできる仕組みへ



### 募集

まちづくりに関心のある方へ広く周知

- 様々な媒体を活用して募集
- 市主催のWS等での案内配布



### STEP1 基礎講座

専門家・実践家を講師に招いた集中講座

- 札幌市の市民自治に関する知識の学習
- ファシリテーションの基礎スキルの習得



### STEP2 実践

市主催のWSで無理のない範囲で経験を積む

- テーブルファシリテーターの見学・サポート



### STEP3 応用講座・振り返り

参加者同士の学びを通じたスキルの定着

- 模擬ワークショップによる実践と気づきの共有
- 講師からのフィードバックによるスキルの確認

参加者の意欲や習熟度に併せてステップアップできる柔軟な仕組みを検討し、R8年度中の試行と検証を目指す